

CONTENTS

- 故辻合名誉教授(女子大)収集の木綿展(3面)
- 女子大・短大バレーボール部リーグ戦初優勝(4面)
- 就職活動奮戦記~今春卒業生~(5面)
- 国際大で初の博士号取得(6面)



グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園広報室
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
Eメール:lkaho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

人生七十古来稀なり、学園は今古稀を迎える。木影界の巨匠として知られる平柳田中は「60、70ははなれた小僧、男ざかりは百から百から」との名言を残し、木影の素材となる木を30年分用意していたという。マダマダの時代といわれて久しい。大学改革が叫ばれ、各大学が様々な改革に手を付けているもの、その実態はなかなか見えてこない。マダマダの一方で、高齢化社会の波が目前に迫っている。大学も例外ではない。学生募集の困難さに加え、教職員の高齢化も進む。しかし、企業と異なり、年々とも精神的な若さを備えた人が多いのもまた「大学」のもつ良さ、強みかもしれない。70年、学園も30年先を見据え、これから、これから(一)

式典開催は11月7日 学園70周年記念事業

シンボルマーク決定、胸像制作は募金で マスコットキャラクター募集

学園創立70周年記念事業進む

平成11年度は学園創立70周年の大きな節目にあたる。昨年10月「学園創立70周年記念事業委員会」(委員長・奥田吾朗理事長)が発足し、その後3月に中間答申を行い、記念事業も具体化、本格的に動き始めた。その概要をみると、

(1) 70周年記念式典(11月7日(日)) (2) 奥田吾朗前理事長の胸像制作(胸像2体) (3) 学生・生徒・園児対象事業としてマスコットと愛称の募集(4) シンボルマークの制作(5) 記念誌編集等々である。

シンボルマーク、記念式典決定

シンボルマークについてはすでに決定し、名刺、封筒その他印刷物に積極的に活用しており、70周年記念事業のアイデンティティーの一翼を担っている。記念式典は11月7日(日曜日)大和田キャンパ



奥田前理事長の胸像制作にとりくむ日高正法氏

前理事長胸像制作、記念誌編纂着々と

奥田吾朗前理事長の胸像(胸像)については、故奥田政三前々理事長のころから学園と関わりが深い、日高正法氏(二

ス・メモリアルホールで挙行され、その後来賓者を迎えた懇親パーティーが予定されている。(前号では記念式典を11月6日(土曜日)予定としていたが、その後諸般の事情を鑑み11月7日(日曜日)に決定)

充実の機能、最新情報図書館 情報発信、受信基地として



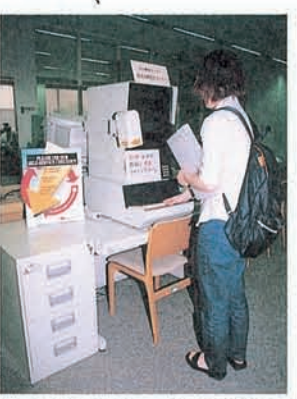
日高正法氏(右)が利用者が集まっている新図書館

4月から情報・図書館棟として威力を発揮している女子大・短大6号館。その中でもとりわけ人気を呼び、連日学生らでにぎわっているのが新図書館。新図書館は、6号館内の2・3階で、約300席の座席と約6万冊(分館とあわせると約12万冊)の資料が設置されている。このほか、視聴覚資料約3500タイトル、雑誌約300種、新聞20紙、官報1紙、加除式資料18種程度の資料も扱っている。

館内のつくりでは、窓や吹き抜けに面した閲覧席や天上高(約3メートル)など、ゆとり

の空間作りに気が配られている。また、照明と書架の配置などが調整され、図書の探索時に照明がしっかりとあたるように配置されているほか、3階の閲覧座席には全席照明を取りつけるなど、利用者が少しでも資料を探検・閲覧しやすいように考えられている。ユニークな施設として、おしゃれな電燈つきの柱巻きのお形閲覧席が3階に設けられている。

利用状況はというと、これまでの旧図書館に比べて、1日平均約150名だった来館者数が3倍以上の500名になった。貸出点数を見ても約2倍に上がっている。その理由として席数が増えたのはもちろん、図書自動貸出機の設置に伴い、自分自身で貸出処



自分自身で貸出処理を行うことができる図書自動貸出機

科会所属)に依頼しており、着々と制作が進んでいる。なお、その制作費については、学内外に浄財の募集を呼びかけているところ。

また、マスコットキャラクターの募集については、学園を構成する大阪国際大学、大阪国際女子大学・短期大学、滝井高校・大和田中学・高校、大和田幼稚園に、それぞれのマスコットを設けることにし、図柄は「ぬいぐるみ」「アクセサリー」「ワッペン・シール」といった想定される用途に適し、各学校・園のイメージにも合致する、動物のマスコットを、各学校の学生・生徒、幼稚園については園児の保護者と教職員から募集。愛称については親しみやすく、呼びやすい上品な内容で、マスコットが決まればそれら一つの「ファミリー」としてうたい、幅広く広めていくというもの。

70周年記念誌編纂も、各方面で活躍されている学園OB、関係者から寄せられた原稿のまとめ、資料の整理に追われ

学園キャッチフレーズ募集

さらに創設70周年を契機に、新世紀に向かって学園の未来を拓くキャッチフレーズを、教職員から募集することになった。これはGLOBAL MINDの下で21世紀に学園が目指す方向を的確に表現した、口ずさみやすく親しみやすい、また学園として格調あるもので、学園の将来を真剣に考えている多くの方々から奮って応募していただきたい。



「明るい未来に向けてのさらなる飛翔」をコンセプトに、70の数字とGLOBAL MINDからイメージした地球を組み合わせ、未来に向かって跳躍する人を表現。

マークは2色、赤は「情熱」「躍動」、青は「知性」を意味する。

女子高校生に新設図書館を開放

この夏休み、女子高校生であればどなたでも、今春新設された図書館が自由に利用できます。お知らせの女子高校生の方にご紹介下さい。

- ・対象—女子高校生(約250人の席を用意)
- ・期間—99年8月1日から8月31日(ただし、土、日曜日を除く)
- ・時間—午前8時50分から午後5時50分まで
- ・利用方法—図書館カウンターで「生徒証」または「生徒手帳」を提示して下さい。

問い合わせ先:大阪国際女子大学・短期大学 附属図書館
TEL:06-6907-4322
FAX:06-6902-2744
ホームページ:
<http://www.oiuw.oiu.ac.jp/lib-html/index.html/>
Eメール: toshokan@adm.oiu.ac.jp/

には開放していませんが、8月中の1ヶ月間、近隣の女子高校生に閲覧室を自習室として無料で開放するほか、11月の70周年記念式典以後は土曜日のみ、一般市民の方にも開放できるように考えています。

女子大スポーツ行動学科教授でもある浅野真智子図書館長は「大いに利用して充実した学生生活を過ごしてもらいたい。そのためには、開館時間延長といった学生の要望にできるだけこたえていきたい。また、できる限り地域に開かれた図書館を目指していきたい」と意気込んでいる。

開館してまだ4ヶ月であるが、早くも好評を得ている新図書館。卒業生も大いに活用してもらいたい。

大阪国際大「政経学部政経学科」改名(来春施行)

政経学部では平成10年4月から学部名称変更検討委員会を設置し、様々な角度から検討を重ねてきた。学部名称と実際の教育課程との間に隔たりがあり、教授会において「法政経学部」が適当であるとの結論に達し、平成11年4月16日付で名称変更を申請、平成11年5月26日付で認可された。新たな名称は平成12年4月1日から施行されることになる。

ハノイ外国語大学 (ベトナム)



約6000人の学生が学ぶ国立大学。昨年度から本学の学生が日本語教員アシスタントとして派遣された

で、日本の学生とは大きな違いがあると感じました。町を歩いているだけでも、日本語を勉強しているのですが、話す相手がいらないので一緒に話してもらえませんか」と声をかけられたり。私達もとても刺激を受けましたね。」と第一回派遣生の山根由里さん(女子大スポーツ行動学科3年生)と腰高亜紅子さん(同コミュニケーション学科学科4年生)。

観光化も進み以前より身近な国になったとはいえ、まだまだ情報の少ないベトナムだが、日本語教員アシスタントとして学生や地元の人々と交流することによって、観光旅行ではわからないベトナムの日常に触れることができ、派遣学生から好評を得ている。

大阪国際女子大学

日本語を教え現地の文化を学ぶ

1998年10月30日に、女子大と提携を結んだベトナムのハノイ外国語大学。国立大学で、約6000人の学生のうち、4000人が英語を専攻、他にはフランス語、中国語、日本語、ロシア語、ドイツ語を学んでいる。ベトナムの多くの大学がそうであるように、1、3回生は午前、2、4回生は午後授業を集中して行うシステムをとっている。

ている。これは施設不足による。日本語科の学生は、ここ4年ほどで増加し現在400人。うち半数は働きながら授業を受けている。また学生の80から85%は女性。13人の教員があり、うち4名はJICAから派遣された日本人。この日本語科に、昨年度から、女子大で選考によって選ばれた学生が、日本語教員アシスタントとして約4週間派遣され、日本語の授業を受け持ちながら、現地の文化や言葉を学んでいる。

キャンパスは首都ハノイの郊外にあり、本学生はそこから約6キロはなれた街の中心部に近い外国人学生用のゲストハウスに滞在。

「毎日、日本語科の学生が、バイクで送り迎えしてくれたんです。それで、学生がよく行くレストランやスーパーなども連れていってもらったり、家に招かれたり、貴重な体験ができました」と山根さん。

また、同大から女子大への留学生も受け入れており、今年度は外国人特別科目等履修生として1人が学んでいる。

「学習意欲と積極性という点」

大和田中・高のオーストラリア姉妹校 2校から21名が来校

大和田中・高校にオーストラリアの姉妹校2校が来校し、生徒、教員間の交流がはかられた。定期的な交流で、2校は一昨年にも来校している。

ローンセストン・チャーチ・グラマースクールから生徒5名、教員1名が5月24日に、セントマイケルズ・カレッジ・インターナショナルから生徒12名、教員

3名が5月31日に来校しそれぞれ1週間、授業を受けた。京都の清水寺や大阪城を観光するといった充実の日々を過ごした。また、新幹線で広島平和記念資料館に日帰り訪問するなどハードな研修も行った。

来校した初日の5月24日と31日には両校の歓迎式典、歓迎パーティーが奥田メモリアル

ホールなどで行われ、ホストファミリーにも参加しての楽しい会となった。両校とも約1週間と短い期間であったが、日本の楽しい思い出を胸に本校をあとにした。

滝井にも豪の4名来校

また、滝井高校でもオーストラリアの姉妹校、トゥーラック・カレッジから交換留学生が来校。例年2名の生徒を受け入れていたが、今回は4名の生徒がホームステイをしながら語学研修等を行った。

期間は6月1日から26日まで、4名は授業を受けたり、東京や広島を見物したりもした。

国際シンポジウム 10月22日に開催

国際大関係研究所主催の第12回国際シンポジウムが、10月22日(金)に開催される。

国際大創設以来恒例となった「国際シンポジウム」は、今回「日本経済の行方と経営の課題」をテーマに問題提起と討議、質疑応答を行う。

講師は、株式会社アシスト代表取締役 ビル・トッテン氏、サントリー株式会社常務取締役 友松康夫氏

会場は、日本綿業倶楽部綿業会館(時間午後2時から5時)

申込み、問い合わせは国際関係研究所 TEL0720158116 FAX 07201581165(直)

大モングルの料理と音楽などを楽しむ

ホストファミリー講座

7月3日(土)国際大キャンパスで、「世界の料理と音楽祭」モングルをテーマに、ホストファミリー教養講座が開かれた。松田孝一教授によるモングル解説映画上映、留学生の作った料理民族音楽、舞踊等でモングルへの理解を深めた。(国際交流センターでは毎月第一土曜日教養講座を行っている)

直言

前理事長奥田省吾さんの像を作るにあたって、70周年事業の一つとして依頼を受けた。そんなに歴史があったのかと驚いている。省吾さんの写真を見ると、穏やかで皇太子殿下のよう。国際大学をつくる当時、「文部省との交渉に苦労する」という話を聞き、ソフトでおだやかな顔立ちから、大学をつくるのに大丈夫だろうかと感じたことがあった。しかし、今回ビデオで拝見した省吾さんの顔は、表面は穏やかだが、内面は気骨のある



「顔」

人だ、なるほど」と感じた。故奥田政三前理事長との出会いから省吾さんを知ったが、政三さんは親切で腰の低い人で、相手をけなさない人柄だった。

こつした親の血を省吾さん



日高正法

熱中していけば今その顔でなくても、やがてその人が作り上げた顔になる。建築家は建築家らしく、音楽家は音楽家らしく、顔はその人の実績が作っていくもの。胸像を作るにあたってビデオが大変参考になる。写真と違い、ムービーだと時間をかけて見るので、その人の「相」がよくわかる。なぜあれだけの学園を作ったのか、解せなかったが、省吾さんのビデオを見てよくわかった。胸像には、その思

留学生レポート

センセイと学生の狭間で学ぶことの大切さ

大阪国際女子大学
コミュニケーション学科4回生 梅澤 正子



今年の春約1ヶ月半を、オーストラリアにある本大学と交流のあるToorak Collegeで日本語教員アシスタントとして過ごした。現地では学校に隣接する寮に滞在し、幼稚園～高校まで一貫した非常に品のある女子学校で「センセイ」と恐縮しながらもそう呼ばれ、生徒達と共に多くの事を学んだ。学校へ行ったその日から高校2年生の日本語会話の担当を早速任せられ、他に幾つかの日本語のクラスに毎時間参加した。個人的に幼い子どもが好きで、言語を学ぶ際に年齢が若いほど馴染みも早いという話を聞いて興味があったことから、主に幼稚園から小学校低学年の日本語の授業を選択した。クラスでは日本の伝統文化や日常生活における我々の生活様式の話など紹介するための時間をいただいたので、絵やあらかじめ用意しておいた写真などを用いてプレゼンテーションも行った。

学内行事や寮内での留学生を含む現地学生との交流も出来るだけ多く取り、これまで経験した語学留学とは違った貴重な体験ができ、ラッキーだったと思う。一番心に強く残っているのは、日本語を学ぶ生徒達の始めの戸惑いと真剣な眼差し、単語一つでも習得した時の彼女達の中に湧き起こる喜びと小さな自信を近くで感じられた事と彼女達全員の顔である。そして「センセイ」という目でそれらを観察できた事は興味深かった。

言葉というのは学んでも切りがなく新しいものは増え続け、ここまで知ったからもう大丈夫、もういいなんて限度がない。しかし、知りたい・理解したいという思いが「学ぶ」という姿勢に自分を駆り立たせる。無事任務を終え元の学生に戻った私は、今もまだ、言語を学ぶことに一途で続けた自分自身のこの4年間を振り返らされている。

(99年2月～3月、豪Toorak Collegeへ日本語教員アシスタントとして派遣)

来日1週間目に思うこと

滝井高校派遣留学生
カーラ・リタリック
ジェシカ・ブラウニング
クリスティン・アンダースン
ジェネビブ・ストーン (写真左から)



日本に来て以来、私たちは多くの方々に温かく迎えていただきました。皆さんとても親切で、私たちのおぼつかない日本語を懸命に理解しようとしてくださいました。本当に、自分たちの日本語の知識のなさには驚いてしまいます。

6月1日に開空に到着しましたが、機中、私たちは興奮の連続でした。もうすぐ、ホストファミリーの皆さんに出会えるのだと思うとわくわくしました。

到着の翌日はホストファミリーの皆さんと買い物に行ったり、散歩に出かけたり、ゆったりと一日を過ごして、新しい環境になれる時間を持つことができました。

次の日は、初めて滝井高校に行く日でしたので、4人とも朝からとても気持ちが高ぶっていましたが、同時に、滝井高校はどんな学校なのかを自分の目で早く確かめたいという気持ちも強く持っていました。国際交流担当の先生のガイダンスを受けたり、福井校長先生から日本の教育システムのお話を聞きました。英会話の授業に出て、生徒さんたちと話をしたりしました。コンピューターのクラスでは、インターネットでオーストラリアの家族にコンタクトさせてもらえました。特色講座の「日本文化」の授業にも参加し、茶道を体験しました。お茶の作法を教えていただきましたので、オーストラリアに戻ったら、家族にそれを見てあげたいと思っています。

日本についてまだ一週間ですが、日本滞在中には、私たちの「オズィ・スピリット」を大いに発揮して、出来るかぎり多くのことに参加し、色々学びたいと思っています。

こんなに素晴らしい機会を私達に与えてくれた、滝井校とトゥーラック校の先生方、ホストファミリーの皆様そして自分たちの両親に感謝したいと思います。

(99年6月、豪・トゥーラック・カレッジから派遣)

い存分に反映させたい。彫刻は、彫刻だけでなく文学、音楽など様々なことを知ることによって、自分自身の内面を作り、精神的なものを高めるものである。総て自分を培ってこそ、それが作品に現れる。

彫刻とは人間性の総てが注がれたものでなければならぬ(談)

(故奥田政三前理事長、奥田せつ名管理理事の胸像や、学園の彫像を数多く手がけ、その縁で前理事長奥田省吾像を制作している)

第12回 グローバルマインド賞

「応募要項」 決まる

今年で12回目を迎える全国高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」の応募要項が決定した。6月上旬、全国の高等学校(約5,000校)へ要項が発送され、6月15日には毎日新聞紙上において、全国に向けての社告も掲載された。さらに大阪府を中心とした高等学校の訪問、9月末締切り直前までの新聞広告紙面での告知、また、一昨年開設したホームページの充実など、万全の体制で募集活動に臨んでいる。

応募要項

テーマ「世界の中の日本と私」

- ・ 応募資格 高校生(平成11年4月現在高校在学の方)
- ・ 応募方法 400字詰め原稿用紙(A4横書き)5-10枚
- ・ 締切り 1999年9月30日
- ・ 発表 1999年12月中旬

応募先

*大阪府北区梅田3-4-15
毎日新聞大阪本社事業本部内、グローバルマインド賞実行委員会
TEL06-6346-8371
FAX06-6346-8372

*大阪府守口市藤田町6-21-57
学校法人 大阪国際学園広報室内
グローバルマインド賞実行委員会
TEL06-6907-4308
FAX06-6902-8961

文部省、大阪府、大阪府教育委員会等の後援や、本賞をめぐり協力企業も今年から新たに紀伊國屋書店が加わり、JTB(日本交通公社)とともに、副賞品が提供されることになった。毎日新聞社との共催を始めて今年で4年目に入り、年々応募作品も増え、一昨年の974編から昨年は1,206編と千編を越える応募数となっている。

学報アンケート結果

学報「GLOBAL MIND」第22号(3月発行)で、国際大、女子大・短大の卒業生に、現況把握を兼ね、「学報」についてのアンケートを同封した。

人気のトップ「OB・OGレポート」

アンケートでは、次のような回答が寄せられた。

まず、興味のある記事では、卒業生の近況がわかる「OB・OGレポート」が断然トップ。

学報を「学園の発展」喜ぶ

近況、次に「教員の近況」、「大卒業生や音楽会等のイベント」が続いた。また「GLOBAL MIND」

次いで「ひと(学内外で活躍の人物紹介)」、「留学生レポート」が多かった。今後もっと掲載してほしいと思われたいものでは、「卒業生の参加出来ることがあれば嬉しい」、「公開講座など卒業してからもい」などの声も多かった。なか

「つげがたい」という発言が相次いだ。今年も9月末の締切りまでの2ヶ月間、「世界の中の日本と私」というテーマをもとに、全国の高校生から「国際化」を自分のものとした個性ある作品が、多数寄せられることを期待している。



手織木綿の技術保存と伝承

故 辻合名譽教授(女子大) 収集の木綿展
孫の和彦氏、八尾歴史民俗資料館に寄贈

昭和50年から59年までの9年間、帝国女子大学(現大阪国際女子大学)で教鞭をとられ、本学の発展に力をそそがれた本学名誉教授の故・辻合名譽教授が、その辻合氏が生前収集されていた、河内木綿など約60点もの染織資料を公開する企画展「辻合喜代太郎氏収集染織資料寄贈記念 木綿―その用と美―」が、3月から4月にかけて八尾市立歴史民俗資料館で開かれ、大きな反響を呼んだ。

辻合氏は日本の「河内木綿」に注目し、河内をはじめ大和や丹波などの木綿を調査されてき

海外勤務者給与調査

今春卒業生を含め、アンケートを送付したのは国際大、女子大・短大の卒業生あわせて約2,000通。回答があったのはそのうち2%ほどだったが、広報室では今回いただいた様々な意見や要望を、これからの企画に反映させていきたい。

最後に、アンケートに協力して下さった卒業生の方には、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、テレフォンカード当選者は、発送をもって発表にかえさせていただきます。

他にはない調査資料

企業の海外進出に伴う人的「コスト」に対する関心が高まっている中、女子大社会コミュニケーション学科 長澤 宏 助教授が、1999年版海外勤務者労働条件調査報告書 海外勤務者の給与をまとめ3月に発表された。

関西生産性本部海外勤務者労働条件調査委員会委員長を務める同助教授が、93年から調査

BOOK

大阪国際大学
経営情報学部教授
相葉 宏二 著

グロービス・マネジメント・インスティテュート編
「MBA経営戦略」
ダイヤモンド社

学年初めにこの本をおくられ週末、ひとときに読み終えた。楽しく読める経営の本である。経営戦略論の教科書としての使用を強く意識した編成となっているが、むしろ惹きつけられるのは、各節始めにおかれている

約2400点を寄贈されたのがきっかけ。今回展示されたのはその一部。会場には辻合氏の収集や研究の広がりを紹介するため、河内木綿に限定せず各地の木綿を、蒲団地、婚礼風呂敷、節句幟、仕事着・長着など用途別に展示された。

期間中、地元市民はもとより、その研究成果や貴重な資料をひと目見ようと多くのファンが訪れた。

資格取得者

- 国際大 (敬称略)
- TOEIC 団体試験 (5月29日実施)
66人中400点以上は16人
- 女子大・短大
- ビジネスコンビューティング検定2級合格者 (2月21日実施)
短大国際2 西垣美樹
- TOEIC (女子大国際) 新入生対象のプレテスト (4月2日実施)
125人中400点以上は4人
- TOEIC 団体試験 (5月22日実施)
74人中400点以上は18人
- 550点以上は次の通り
- 女子大 コミ4 宮田梨永 康恵
- 福田あき子 出口知子
- 第23回ワープロ検定2級合格者 (5月15日実施)
女子大社会 コミ2 故東郁恵 同 コミ3 山村志保 同国際 コミ3 永

国際教育

- 国際大海外派遣留学生
- 田中巨樹(経情4) 林 里美 梅澤良太(以上同3) 松山径子 中野勝行(以上政経3) 滝井高オーストラリア、タワーラック・カレッジ派遣留学生
- 松山由起 末石朋子(以上3) 吉野有未 河添佳奈子(以上2)
- 国際大平成11年度学業優秀者 (7月7日)
- 弓場大地 鈴木富士子 西崎 諭 小川亜沙子 野瀬晶子 長谷川 太郎(以上経情4) 松岡尚行 上田裕子 津田賢太郎 成田亜紀 長光寛二 伊左次 聡(以上同3) 河野恵梨子 福岡聖土 文瑋 岡本安樹 八田 徹 佐伯朱美(以上同2) 田村真一 松村志子 福井健人 饗庭会奈爾 亀田幸代 中村武敏(以上政経4) 坂寄利国 大江 一郎 平田 洋介 鍛冶雅一 森澤旭喜 中川 誠(以上同3) 秋尾哲哉 原田 亜由子 西田託真 小島純香 葛西隆一 船越健之(以上同2)



ケース・スタディーの部分で、そのケース・スタディーと理論構成や学説紹介との結び付けが あざやかだ。

たとえば、事業ポートフォリオ分析のところでは、キャンソンのケースを効果的に使って、わかりやすくPPMの考え方が説明されている。

日本の経営者は、戦国武将の人生訓物語や挨拶文例集のごときものに淫して、まじめに経営学を勉強しないとは、しばしばいわれたことだ。最近少しは変わったものの、日本の経営学と日本の企業経営とのあいだ

には、アメリカやヨーロッパにはない深い溝が残っていた。戦略を構築すべきトップがひ弱でミドルマネジメントはそつなく日常業務をこなすばかりというありようと無縁ではあるまい。

特徴のない経営は面白くないし、魅力のない経営がよい経営だとは思えない。経営戦略論のケースに使えるような経営者が日本にも意外に多くいると思うのは楽しい。

なお、著者は、ケースを再構成していくさいの資料として、近年集積の進んだ新聞雑誌のデータベースを要領よく利用されていることである。卒論・レポートなどで学生にモノ調への技術を指導するにあたって参考になる点が多い。

(評者・大阪国際大学政経学部 教授 堀田隆司)

平成12年度入試展望

国際大 一般入試を3回実施 試験科目減らし受験方法も工夫

十二年度入試では、より多くの受験生が挑戦してもらえよう、入試制度をかなり変更いたしました。以下その要点を記します。

(1) 一般推薦Aのリスニングテストを「英語基礎学力調査」に変更し、更に「簿記」「情報基礎」を加えて、この3科目の中から1科目選択としました。

(2) 一般入試の回数を3回にしました。二月初めと後半、三月の半ばに実施し、それぞれ一般A・一般B・一般Cと呼ぶことにしました。

(3) 試験科目数を減らしました。つまり、一般A・一般Bは、国語「英語」選択科目の中から2科目に、一般Cは「国語」「英語」の中から1科目にしました。

(4) 試験会場を増やしました。とでもできます。

(5) センター試験利用入試も、昨年同様2回実施し、一次は一般Aに、二次は一般Cに準じて科目数を減らしました。以上、かなり受けやすくなりました。一人でも多く受験して下さることを期待しています。

(大阪国際大学入試室長 中島是美)

推薦Bの資格や実績がなくても、学校長の推薦があれば誰でも受けることができます。併願可、浪人は従来通りです。

また、いずれも、A・Bは3科目、Cは2科目とも受けてそれぞれ得点の高い方をとることになります。

平成12年度入試日程 学生・生徒募集要項

選考種別	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間	
修士課程	経営情報学研究所	一次	平成11年9月6日(月)～9月17日(金)	9月25日(土)	10月1日(金)
		二次	平成12年2月3日(木)～2月10日(木)	2月22日(火)	2月25日(金)
	総合社会科学研究所	一次	平成11年9月13日(月)～9月24日(金)	10月2日(土)	10月8日(金)
		二次	平成12年2月3日(木)～2月10日(木)	2月19日(土)	2月25日(金)
博士(後期)課程 ※経営情報学研究所のみ	平成12年2月3日(木)～2月10日(木)	2月22日(火)	2月25日(金)	2月28日(月)～3月6日(月)	

選考種別	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
推薦	指定校・併設校推薦	平成11年11月1日(月)～11月17日(水)	政経学部 11月25日(木) 経営情報学部 11月26日(金)	12月7日(火)
	一般推薦A・B 帰国生徒入学選考	平成12年1月6日(木)～1月24日(月)	政経学部 2月1日(火) 経営情報学部 2月2日(水)	2月9日(水)
一般入試	A方式	平成12年1月6日(木)～1月24日(月)	独自試験は行わない	2月14日(月)～2月18日(金)
	「センター試験」選考一次	平成12年1月12日(水)～1月28日(金)	独自試験は行わない	2月14日(月)～2月18日(金)
	B方式	平成12年2月7日(月)～2月17日(水)	政経学部 2月22日(火) 経営情報学部 2月23日(水)	3月1日(水)
	「センター試験」選考二次	平成12年3月1日(水)～3月10日(金)	独自試験は行わない	3月22日(水)～3月27日(月)
留学生入学選考	留学生入学選考については、国際交流課までお問い合わせください。お問い合わせ先：0730-58-9848(国際交流課直通)			

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
特別推薦入学選考	平成11年10月7日(木)～10月14日(木)	10月17日(日)	10月21日(木)	10月22日(金)～10月29日(金)
推薦入学選考1期	平成11年10月18日(月)～10月28日(木)	11月1日(月)	11月5日(金)	11月8日(月)～11月15日(月)
帰国生徒入学選考	平成11年10月18日(月)～10月28日(木)	11月1日(月)	11月5日(金)	11月8日(月)～11月15日(月)
推薦入学選考II期	平成11年10月25日(火)～11月3日(月)	11月10日(水)～11月11日(木)	11月17日(水)	11月18日(木)～11月25日(木)
奨学生入学選考	平成11年10月25日(火)～11月3日(月)	11月10日(水)	11月17日(水)	11月18日(木)～11月25日(木)
一般入学選考1期	平成12年1月12日(水)～1月19日(水)	1月22日(土)～1月23日(日)	1月27日(木)	1月28日(金)～2月3日(木)
一般入学選考II期	平成12年2月7日(月)～2月25日(金)	2月29日(火)	3月3日(金)	3月6日(月)～3月13日(月)
留学生入学選考	留学生入学選考については、国際交流課までお問い合わせください。お問い合わせ先：06-6907-4306(国際交流課直通)			
社会人入学選考	平成12年2月17日(木)～2月25日(金)	2月29日(火)	3月3日(金)	3月6日(月)～3月13日(月)

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
特別推薦入学選考	平成11年10月7日(木)～10月14日(木)	10月16日(土)	10月21日(木)	10月22日(金)～10月29日(金)
推薦入学選考1期	平成11年10月18日(月)～10月28日(木)	11月1日(月)	11月5日(金)	11月8日(月)～11月15日(月)
帰国生徒入学選考	平成11年10月18日(月)～10月28日(木)	11月1日(月)	11月5日(金)	11月8日(月)～11月15日(月)
推薦入学選考II期	平成11年10月25日(火)～11月3日(月)	11月10日(水)～11月11日(木)	11月17日(水)	11月18日(木)～11月25日(木)
奨学生入学選考	平成11年10月25日(火)～11月3日(月)	11月10日(水)	11月17日(水)	11月18日(木)～11月25日(木)
一般入学選考	平成12年1月12日(水)～1月19日(水)	1月22日(土)	1月27日(木)	1月28日(金)～2月3日(木)
社会人入学選考	平成12年2月17日(木)～2月25日(金)	2月29日(火)	3月3日(金)	3月6日(月)～3月13日(月)

平成12年度から、大阪国際女子大学、短期大学卒業生の姉妹及びご息女を受験に際しては、入学検定料が免除となります。詳細については、大阪国際女子大学・短期大学入試室までお問い合わせ下さい。06-6907-4310(入試室直通)

学校名	普通科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
大阪国際滝井高等学校	アカデミックコース(標準) グローバルコース(国際) エクセレントコース(特選)	平成12年1月24日(月)～1月29日(土)	2月4日(金) 2月5日(土)	2月9日(水)	2月15日(火)
大阪国際大和田高等学校	国際・教養コース 英数コース	平成12年1月24日(月)～1月31日(日)	2月4日(金) 2月5日(土)	2月8日(火)	2月10日(木)
大阪国際大和田中学校	一次	A	平成12年1月7日(金)～1月14日(金)	1月15日(土)	1月17日(月)
		B	平成12年1月7日(金)～1月15日(土)	1月16日(日)	1月19日(水)
	二次	A	平成12年1月17日(月)～1月21日(金)	1月22日(土)	1月24日(月)
		B	平成12年1月17日(月)～1月22日(土)	1月23日(日)	1月26日(水)
大阪国際大和田幼稚園		平成11年10月1日(金)	10月4日(月)	10月6日(水)	10月7日(木)

女子大・短大 本学に関心をもち 個性豊かな学生を期待

少子化時代、長期にわたる景気の低迷のなかで大学の危機が声高に叫ばれ出したここ数年、昨年の入試結果は一部の学科で定員を割るなど厳しい状況をおもてかえた。

もちろん入試では学生数の確保が最重要課題であることはいうまでもないが、本学を理解し本学で学びたい学生に入学してもらい、教育の効果を上げ社会に貢献することになる。

中島是美

健闘/熱戦/クラブ活動 シンクロナイスオーブン大会 女子大の足立さん出場

文部省の規制緩和の結果、推薦枠を大幅に増加させることが可能になったことから、特別推薦を含む推薦選考に重点をおいて、本学の教育内容に関心をもち、本学の入学を期待する募集活動を行っていきたい。また、個性豊かな学生の存在は大学の活性化に資するところが大きい。そのため高校時代に各種分野に情熱を傾けてきた生徒を対象とした一芸一能選考にも力を注いでいきたいと考えている。

このような本学が望んでいる資質・能力を持った生徒への情報の伝達手段としては、可能な限り個別に対応出来るシステムを準備し実効をあげたい。

また、本学では社会人、社会人編入の選考を行っているが、社会人学生の存在は他の学生に良い刺激となっている。GLOBAL MIND 読者、あるいはその関係の方で大学で学ぶ意欲のある方は是非入試室にご連絡いただければ幸いです。

以上のように今年度もたゆみなく前進を続けて参りますので皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(大阪国際女子大学・短期大学 副学長 長野文典)

バレーボール部初優勝

7戦全勝一部リーグを制覇

フェニックス部は総合優勝

また、同じく関西学生1部リーグで活躍している女子大・短大バレーボール部もリーグ戦で、7戦全勝の初優勝を遂げた(6面ひと欄に関連記事)。

リーグ戦は8校で争われ、同部は昨春7位で2部リーグとの入替戦に出場。残念ながら入替戦でも敗れ、昨秋は2部からの

活気づく 女子大・短大ソフト 1部3位と健闘

関西学生1部リーグで活躍している女子大・短大ソフトボール部。全国でも強豪で知られる同部は、4月から5月にかけて行われた関西学生リーグ戦で、優勝こそ逃したものの3勝2敗の第3位と健闘した。

リーグ戦は6校で争われるが昨春は5位、昨秋は6位と本意な成績だけに今回の活躍はチームに勢いを感じさせる。

同部はこれまでリーグ戦での優勝はもろろ昨年、一昨年と「全日本女子短期大学ソフトボール大会」で連覇している。

女子大・山田恵都子さん テニス大会で栄冠 輝く優勝と準優勝

テニス部に所属している女子大人間健康科学科3回生の山田恵都子さんが、「ミキブルーン」で活躍の女子大スポーツ行動学科1回生の足立万里香さんが7月8日から11日、スイス・チューリッヒで開催された「シンクロナイスオーブン大会」に全日本オリンピック候補Bチームの一員として出場した。

全日本オリンピック候補Bチームは9名で、足立さんらは財団法人日本水泳連盟からの派遣で出場。

惜しくも準決勝進出ならず 春高バレー、ベスト8入り

滝井高校バレーボール部が3月20日から26日にかけて、東京・国立代々木競技場で行われた「第30回春高バレー」で、ベスト8入りを果たした。準々決勝では強豪の宮城・古川商高に惜しくも敗れ、昨年に続いての準決勝進出はならなかった。また、今大会の活躍した選手ら

で、26日から31日まで行われた「高校男女選抜強化選手合宿」に、3年生の高山千夏さんと村上尚美さんが選ばれ参加した。

同部は春高バレーに8年連続11回出場しており、平成4年と6年には全国制覇を果たしたこともある。

国際大軟式野球部 春季リーグ戦優勝

8月の全国大会に出場

西都大学軟式野球連盟1部リーグの国際大軟式野球部が、春季リーグ戦でみごと優勝し、8月20日から25日、奈良県で行われる全国大会に出場する。

同部はこれまでリーグ優勝はもろろ、昨年の全日本大学選手権では第4位と輝かしい戦績をおさめている。

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学

大学院 経営情報学部・政経学部 留学生別科

- 9.2 前期追試験(～3)
- 9.13 集中講義・通年科目補講期間(～24)
- 9.27 後期授業開始
- 10.22 国際シンポジウム
- 10.23 キャンパス見学会
- 10.29 大学祭(～31)

大阪国際女子大学

人間科学部社会コミュニケーション学科・人間健康科学科

国際コミュニケーション学科・スポーツ行動学科

大阪国際女子短期大学

家政科・幼児教育科・国際文化学科

- 9.8 追・再試験(～10)
- 9.11 キャンパス見学会
- 9.13 集中講義・補講(～17)
- 9.20 後期開講
- 10.23 大学祭(～24)

大阪国際滝井高等学校

- 9.1 始業式
- 9.18 第1回オープンキャンパス
- 9.22 文化祭(～23)
- 10.2 第2回オープンキャンパス
- 10.8 体育祭
- 10.11 第1回入試説明会
- 10.21 中間考査(～26)
- 10.30 第3回オープンキャンパス
- 11.2 1、2年生遠足
- 11.6 保護者会
- 11.13 1年生英語合宿(～14)
- 11.15 芸術鑑賞
- 11.17 避難訓練
- 11.21 第2回入試説明会

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 8.2 3年生学習合宿(～6)(高校)
- 9.1 始業式
- 9.19 文化祭、オープンスクール(中学)
- 10.2 オープンスクール(高校)
- 10.13 授業参観(中学)
- 10.16 入試説明会(高校)
- 10.21 中間考査(～22)(高校)
- 10.25 中間考査(～26)(中学)
- 10.30 入試説明会(中学)
- 11.2 遠足
- 11.13 入試説明会(高校)
- 11.27 入試説明会(中学)

大阪国際大和田幼稚園

- 8.23 夏季保育(～26)
- 9.1 始業式
- 10.2 運動会
- 10.22 園外保育
- 11.21 作品展



大阪国際大学経営情報学部99年3月卒業
大和ハウス工業株式会社
広島支店集合住宅課
亀崎 忠彦

私は今年の春にO.I.Uを卒業して働き始めています。私の経験が少しでも役に立てばと願っています。

就職活動、モード設定は自分流

一つはアピールポイントを絞る(絞らざるをえない)。二つ目はスムーズな会話をすること。三つ目は具体的な就職活動ではタブーとされているアルバイトの話をかきり下

話をできるようなにした。この方法は意外にも便利で何を聞かれても最後には唯一のアピールポイントに結びつけて答えていた。それでも面接の感触はどれも悪くはなかった。活動中に思っていたことは今の自分の持っているものを出して落ちるのであればそれはその時点で社会、あるいはその会社で通用しないとい

「お地蔵さまの鈴が縁」

本紙第20号のOGレポートに登場した深代里子さん(短大英文科'68年卒)群馬・たくみの里で工房を開き、お地蔵様の絵の鈴などを作っていると報告して下さったが、この記事が縁で、はるか離れた岡山で同じく短大卒業生の芝原 羊さんが、その鈴を扱うこととなった。

芝原さんは、短大家政科被服を'68年に卒業し、岡山県久米郡の興禅寺に嫁がれた。記事を読んで「お地蔵様の鈴を寺でぜひ扱わせてほしい」と深代さんに連絡。

「うちの寺もお地蔵様をまつっているんです。鈴は寺のあちこちに置き、欲しいという方におわけしています。ぬくもりがあって、心がなごむ感じがして喜ばれているんですよ。」と芝原さん。

なお、深代さんは、昨秋行われた技能五輪に県代表の1人として出場するなど、ますます活躍中。

うことなのでまた出直せばよいという気持ちだった。それぐらいの気持ちでいっていいのでリラックスして受けられたいという結果につながったと思う。



大阪国際大学経営情報学部92年卒
上海小林商標製造有限公司
前田 光敏

前田 光敏



大阪国際女子大学家政学部被服学科93年卒
社団法人電気通信協会近畿支部
(出向ATR音声翻訳通信研究所)
研究補助員
下村 由美
(旧姓 大西)

下村 由美



大阪国際女子大学人間科学部
コミュニケーション学科99年3月卒業
LSI生産本部
藤本 裕子

あきらめずに相性合う会社さがす

就職活動を始める上で肝心の、なぜ就職を選択するのかという認識です。就職する目的を自分自身で理解できれば、企業のブランドや人気に惑わされることなく求める企業を選ぶことができます。

私は、一般職で働くことのできる企業を数種類の業種で受けました。幅広く受けることで比較ができ、求めている仕事に明確になりました。また、実際に足を運び自分で企

業の雰囲気を感じることを心掛けた。活動をする中で本当に私にどのような業種に向いているのだろうと悩むこともありましたが、また、スケジュールがなくなり不安になることもありませんが、そのような時は少しも興味のある企業にはコンタクトをとりチャンス大切にすべきです。

刺激的な街。魔都・上海

中国を旅されたことがある人はまだまだ少ないのではないだろうか? 「中国」と聞いてどんなイメージを抱かれるだろうか? そんな中国で現在、私は駐在しています。95年2月からなので丸4年が経過しました。本場での中華料理は本当においしいし、ビールも安いし、中国駐在もまんざらじゃない...これは本当だけれど、実は、毎日が文化や生活習慣の違いのたまたかの連続です。

私が生活しているのは、大都市・上海です。ここでは多くの外国人が生活しています。日本人もかなり多くの方が駐在されています。駐在して刺激を受けることが二つあります。

一つは日系企業の方々との出会いです。業界、業種、役職のレベルを超えての出会いがあります。日本ではまずお会い出来ない方との名刺交換などは刺激があります。

もう一つは、中国の同世代の方々との出会いです。主観的な見方も知れませんが、個人個人のパワーが違うし、チャレンジ精神が旺盛です。そのパワーに圧倒されている私自身を歯がゆく思うことが多々あります。かなり刺激的です。そんな彼らを見ていて、いつの間にか、私自身の目指しているものというか、未来図が描けるようになりました。

異国の地での生活もそうですが、仕事においても可能性のある限り自分の夢にチャレンジしたいと思います。一度、上海へ来て見て下さい。E-Mail: lumen@anet.ne.jpまたはhikari@curio.city.com

ヘッドラインニュース

- 3/13 短大 国際文化学科の杉 恭子さん('98年度卒業生)が、「第13回学生によるコンピュータ利用研究発表会」(教育システム情報学会情報教育部会主催)に出場
- 4/13～21 女子大 コミュニケーション学群「資格取得推進ウィーク」開催
- 4/16 女子大 外国人科目等履修生1名、外国人特別科目等履修生11名が学長に挨拶
- 4/21 国際大 西田俊夫学長が枚方東郵便局「第66回通信記念式典」で一日郵便局長に
- 4/21 大和田中・高 避難訓練
- 4/27 学園 名誉教授称号授与式
- 4/28 国際大 第1回スポーツメディカル講習会、講師は蛭間栄介講師(テーマ「テーピングについて」)
- 5/21 短大 幼児教育科2回生を対象に自然体験実習(講師は伊丹市昆虫館の奥山清一氏)
- 5/21 大和田高 約70名の生徒がボランティアで藤田町内各公園、学園周辺道路を清掃
- 5/28 短大 幼児教育科1、2回生対象に実技研修(人形劇団クラルテ)
- 5/29 短大 国際文化学科1、2回生対象に「奈良山辺の道ハイキング」(天理石上神社から桜井三輪神社)
- 6/2 学園 本部企画室の岩本 博課長が専門図書館協議会から表彰
- 6/3 短大 門真市の「エンジョイ子育て講座」に短大の尾崎壽子非常勤講師(テーマ「現代親子事情-保育の現場から-」)
- 6/4 短大 幼児教育科「世界の幼児教育」の課外講座(講師は女子大国際コミュニケーション学科の黄 志軍助教授)
- 6/5 大和田中・高 第5回体育祭
- 6/10 短大 国際文化学科「国際地域理解講演会」(講師は国際文化学科の阿部直哉助教授)
- 6/10 短大 国際文化学科「航空業界論」(講師はルフトハンザドイツ航空マネジャーの山下謙次氏)
- 6/14 女子大 スポーツ健康学群「第1回特別課外講座」(講師は社会福祉法人プロップステーション理事長の竹中ナミ氏)
- 6/23 幼稚園 交通安全教室
- 6/26 女子大・短大 国際交流課「留学生とのお料理会」(研修会館内)
- 6/26 短大 幼児教育科「第12回現職研修会」(講師は岡崎建夫助教授)
- 6/30 国際大 第2回スポーツメディカル講習会、講師は蛭間栄介講師(テーマ「指の機能とテーピングについて」)

OB・OGレポート

21世紀に挑むサイエンスタウンより...

現在私は、社団法人電気通信協会から、株式会社ATR音声翻訳通信研究所へ外出し勤務しております。

ここは大阪国際大学と同じ関西文化学術研究都市の一角にあり、官民合同で夢の最先端技術を実現する為に作られた電気通信分野における基礎的・独創的な研究開発を行う研究施設です。

異なる言語を用いる人と人とが自由にコミュニケーションできるために自然に話した音声認識し、くだけた表現なども翻訳できる技術の開発をしています。仕事内容は、自然な話し言葉の認識や翻訳の研究を行うための基礎資料として、実際に人が話した会話を大量に集めた音声言語データベースを作っています。データを蓄積していく作業なので、人と話すこともなく同じ作業の繰り返しで一日中ヘッドホンを音を聞いたりコンピュータと睨めつこの毎日です。

おかげでTVのニュースのいい間違いなどをチェックする癖がついてしまいました。

会社の食堂から見える庭では運がよければ可愛い野ウサギに会えますし、夜になると道路で猪や狸に出くわすこともあります。

とてもどかですが、数年後には隣に国会図書館が出来上がる一步先ゆく街です。研究所のホームページがありますので、興味の出の方は一度覗いてみてください。

URL <http://www.itl.atr.co.jp/>



↑学生人気のインフォメーションセンターにあるパソコンライブラリ。22席設置されており、インターネットサーフィンやオンライン雑誌の利用が楽しめる



↑4号館から移転したブックセンター。1階のエンターテインメントホールにある。

インフォメーションセンターにあるAVブース、CDやカセットテープで語学学習またはビデオソフトなど高精細画面で楽しむことができる。



和室を備えた6階の第2食堂。最上階からの見晴しは最高



「おしゃべり感」地下の喫茶室。いつも学生でにぎわっている。

図書館のほかに、多くの施設で学生らに人気を呼んでいる6号館。今回はそのいくつかの施設を紹介。前号でも紹介したが、建物概要は鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階建、延床面積約6千平方メートル。外観は同キャンパス学舎の統一イメージに合わせたモザイクタイル張りで、施設的には身障者に十分配慮されている。地下は喫茶室(約90席)、多目的ホール(約80席)、LL教室など。1階はインフォメーションセンターや国際交流センターが入居。インフォメーションセンターは午後8時まで利用でき、情報・図書館棟にふさわしく、最新情報システムを導入して多種多様な情報を学生に活用してもらう場となっている。2、3階は1面で紹介した図書館。大阪国際大学図書館や地元守口市のムーブ21図書室など他図書館とも連携している。4階は大教室(約260名収容)と

新館(6号館) 紹介

中教室(100名前後収容)が2つ、そしてセミナー教室など。5階は運動指導室や栄養指導室、健康管理センター、

女子大人間科学部や短大各学科が、これまでより一段と充実するのは言うまでもない。

学生相談室のほか、産学共同研究室など。最上階の6階は和室を備えた第2食堂となっている。平成9年8月1日から建替え工事が進められ、学生をはじめ教職員の誰もが心待ちにしていた6号館の完成。



館内ウオッチング

自動貸出し装置を導入している図書館では、きちんと貸出し処理をしないまま出口のバーを通ると、たちまちアラームが2階フロアに響きわたる。その度、「何事か起きたのか」と衆目の的になっている。

最新システムも、しばらくはバーを挟んで、学生、係員とのよきコミュニケーションツールになりそうだ。

営業時間 喫茶 9時~17時 (いずれも夏)

食堂 11時~14時 (明休あり)



図書館システムによって管理されている資料をハンパで簡単に検索

国際大で初の博士号取得

国際大で6月23日、博士学位記授与式が行われ、陳路さん(中国)が卒業後、神戸商科大学(中)



大学院修士課程を経て、3月31日付で博士号を取得。5月26日に行われた博士学位申請論文公聴会で陳さんは、「日本の企業財務会計制度の生成・発展に関する研究」一特に「企業会計原則」と商法会計規定を中心として一をテーマに発表した。

出身)に大学院博士學位記が授与された。国際大では初めてのこと。陳さんは天津財經大學(中国)を卒業後、神戸商科大学(中)

ひと

感動を与えるバレーを

昨秋の関西学生2部リーグ戦で全勝優勝し、見事1部復帰を果たした女子大・短大バレーボール部。本学の併設校、高校バレーの強豪・大阪国際滝井高校に負けじと頑張っているバレーボール部が、4月から5月にかけて行われたリーグ戦で、数ある強豪を次々と倒し、見事全勝優勝を飾った。

「この時の悔しさがバレーの原動力として米村さんを含め、全国的にも知られる滝井高校でのバレー経験者が多くいることも見逃がせない。同部はここ数年メキメキ力をつけており、平成8年秋に2部リーグで優勝し、念願の1部昇格を果たした。しかし、1部は強豪揃いとあってなかなか勝てない。結局1年あまり再び2部に降格してしま



女子国際コミュニケーション学科3回生 バレーボール部主将 米村知恵さん

た。もちろんバレー部初の快挙。 「苦しいときもあったが、頑張ってきたよかった」。その話すのは、チームを引っばる女子国際コミュニケーション学科3回生の米村知恵さん。写真別左端。主将であり、司令塔のセッターをつとめるチーム一の元氣者。コート上で見せる気迫からは想像つかないほど、かわいらしいごく普通の大学生。そんな米村さんが、持ち前のリーダーシップを発揮して、リーグ戦快進撃の原動力になったのはいうまでもない。

福井県出身の米村さんが滝井高校に入ろうとしたのは中学のとき、「バレーをするならこしかな」と決意したこと。あれから5年がすぎ、辞めようと思ったことはこれまで幾度となくあった。しかし「バレーが好き」という気持ちがかこまで頑張らせたという。